

西野 達

- 1960 愛知県生まれ
1984 武蔵野美術大学修了
1997 ドイツ、ミュンスター美術アカデミー修了

主な個展

- 2017 「西野達 ホテル裸島 リゾート・オブ・メモリー」津奈木町内、熊本
「西野達 in BEPPU」別府市内各所、大分
「日産アートアワード・コレクション TATZU NISHI」YCC ヨコハマ創造都市センター、神奈川
- 2016 「IN BED WITH MARTIN LUTHER」カールス広場、アイゼナハ、ドイツ
- 2015 「写真作品、ほぼ全部見せます」TOLOT/heuristic SHINONOME、東京
「Solo Group Show - Taturou Atzu, Tatzu Nishi, Tazu Rous, Tatzu Oozu, Tatsurou Bashi, Tazro Niscino」HAB Galerie、Château des ducs de Bretagne、Musée Jules-Verne、ナント、フランス
「神様に一番近い庭」Oude Kerk(旧教会)、アムステルダム、オランダ
- 2014 「Hotel Manta of Helsinki」Helsinki Art Museum、ヘルシンキ、フィンランド
- 2012 「TATZU NISHI Discovering Columbus」コロンバスサークル、ニューヨーク、USA
- 2011 「鉄道芸術祭 vol.1 西野トラベラーズ 一行き先はどこだ?」京阪電車なにわ橋駅アートエリア B1、大阪
- 2010 「『西野達 別名 大津達 別名 西野達郎 別名 西野竜郎』西野達作品集出版記念展」ARATANIURANO、東京
- 2009 「Lugares Comunes Project」ボゴタ、コロンビア
「Tatzu Nishi」ロスリン・オクスレイ 9 ギャラリー、シドニー、オーストラリア
「バレたらどうする?!」ARATANIURANO、東京
「War and peace and in between」カルダーアートプロジェクト、アートギャラリーオブニューサウスウェールズ、シドニー、オーストラリア
- 2007 「Studio Exhibition」広島市現代美術館 広島
「Tatzu Nishi」ブラム&ポー・ギャラリー ロサンゼルス、USA
「MAM プロジェクト」森美術館、東京
- 2006 「天上のシェリー」メゾンエルメス、東京
- 2005 「Café in the sky - Moon Rider」デン・ハーグ、オランダ
「Cabinet 3」ゲント市立現代美術館、ゲント、ベルギー
- 2004 「Garage」、ケルン、ドイツ
「immer der Nase nach! 2004 Cologne」、ケルン、ドイツ
「heute mir morgen dir 今日俺、明日はお前」、ルイス・カンパーニャ・ギャラリー、ケルン、ドイツ
「Café in the sky - Moon Rider」、ダブリン、アイルランド
- 2002 「Engel 天使」リットマン・カルチャープロジェクト、バーゼル、スイス
- 2001 「Der Neunsitzer 9人乗り」、ユンゲ・クンスト ヴォルフスブルク、ドイツ
「Interventionen 24 交渉 24」シュプレングル・ミュージアム、ハノーファー、ドイツ
- 2000 アートテーク ケルン、ドイツ

- 1999 「Das habe ich gar zu gern 好きで好きでたまらない」ドルトムント・キュンストラーハウス、ドルトムント、ドイツ
- 1998 「Mir ist seltsam zumute 妙な気がする」ブレーメン、ドイツ
- 1997 「Obdach 宿あり」ケルン、ドイツ

主なグループ展

- 2017 「第7回 Bi-City Biennale of Urbanism\Architecture (UABB) Cities - Grow in Difference」
Nantou Old Town、深圳、中国
「2017年度第2期 常設展 見るということーゼロ年代の写真と映像」高松市美術館1階常設展示室、香川
「11th カウナスビエンナーレ THERE AND NOT THERE: (Im)possibility of a monument」
カウナス、リトアニア
『『そこまでやるか』 壮大なプロジェクト展』21_21 DESIGN SIGHT、東京
シリーズ ミュージアムとの創造的対話 01 「Monument/Document 誰が記憶を所有するのか？」
鳥取県立博物館、鳥取市街地エリア、米子市街地エリア
「11th カウナスビエンナーレ-THERE AND NOT THERE」カウナス、リトアニア
- 2016 「PARADOXA - ARTE GIAPPONESE OGGI」 Casa Cavazzini Contemporary Art Museum, Udine, Italy
- 2015 「ヒア アンド ナウ」 ARATANIURANO、東京
「ARTBAT FEST 6」アルマトイ、カザフスタン
- 2014 「Manifesta 10」 エルミターージュ美術館、サンクトペテルブルク、ロシア
- 2013 「BHÁsia — Câmbio Cultural」 ペロホリゾンテ、ブラジル
- 2012 「開港都市にいがた 水と土の芸術祭 2012」新潟
「ホテルゲント」 TRACK、ゲント、ベルギー
- 2011 「第8回メルコスールビエンナーレ」ポルトアレグレ、ブラジル
「第6回クリチバビエンナーレ」クリチバ、ブラジル
「おおさかカンヴァス」 大阪
「中之島コレクションズ」 国立国際美術館、大阪
「シンガポールビエンナーレ 2011」 シンガポール
- 2010 「あいちトリエンナーレ 2010」 名古屋、愛知
「La Bienal de Arte Paiz - Héroe」 グアテマラシティ、グアテマラ
- 2009 「Twist and Shout」 バンコク芸術文化センター、バンコク、タイ
「Harburger Berge」 ハンブルグ、ドイツ
「Kaldor Art Projects」 シドニー、オーストラリア
「Estuaire 2009 - Villa Cheminée」 ナント/セントーナザレ、フランス
- 2008 「赤坂アートフラワー2008」 赤坂サカス、東京
「Scape2008 クリストチャーチ ビエンナーレ オブ アート イン パブリックスペース」
クリストチャーチ、ニュージーランド
- 2007 「Estuaire 2007」 ナント/セント-ナザレ、フランス
「Tatort 犯行現場」 パダボーン、ドイツ
「Köln Skulptur 4」 ケルン彫刻庭園、ドイツ
「MDE07」 メデジン、コロンビア
- 2006 「7Treppen」 エリザベス・モンタグ財団、ヴッパータール、ドイツ
「愉しき家」 愛知県美術館、愛知

- 「Okkupation 占領」 ベルリン、ドイツ
- 2005 「Ecstasy エクスタシー」 ロサンゼルス現代美術館 ロサンゼルス、USA
「Projekt Migration 移住計画」 ケルン美術協会ケルン、ドイツ
「横浜トリエンナーレ 2005」、 神奈川
「ミュンスターラント彫刻ビエンナーレ 2005」 ボルケン、ドイツ
- 2004 「第1回セビリヤ国際現代 美術ビエンナーレ」 セビリヤ、スペイン
ブラム&ポー・ギャラリー、ロサンゼルス、USA
- 2003 「At Least Begin to Make an End せめてそろそろ終わりにしよう」
W139 アムステルダム、オランダ
- 2002 「Licht Routen 光の軌跡」 リューデンシャイト、ドイツ
「リバプールビエンナーレ」 リバプール、イギリス
「Verzauberung durch Irritation 刺激の魔法」 アーレン、ドイツ
「hell-gruen 明るい緑」 デュッセルドルフ、ドイツ
「日常茶飯美-Beautiful Life?」 水戸芸術館 茨城
- 2001 「Uni Kunst Tage 大学美術週間」 ミュンスター、ドイツ
「Poëziezomer ポエツィーツォーメ ポエジーの夏」 ワトー、ベルギー
「direttissima ディレティシマ 一直線に」 ミュンスター、ドイツ
- 2000 「Kunstbaden クンストバーデン (芸術浴)」 ヴィースバーデン、ドイツ
「Continental Shift 大陸移動」 ルートヴィヒ・フォーラム アーヘン、ドイツ
- 1999 「b-l-i-k-o-p-e-n-e-r 缶切り」 ドルトレヒト市アートセンター、ドルトレヒト、オランダ
- 1998 「Hotel am Rhein」 ケルン、ドイツ
「Lieblingsort:Köln ケルンのお気に入りの場所」 ケルン、ドイツ
「East International イースト・インターナショナル」 ノーウィッチ・ギャラリー、ノーウィッチ、イギリス

* 展覧会の日本語タイトルは、参考表記としての仮題になります。

受賞

- 2013 日産アートアワード 2013 審査委員特別賞
2011 The Great indoors Award 2011 Relax&Consume 部門大賞 (Frame Magazine 主催)

コレクション

- 国立国際美術館、大阪
高橋コレクション
高松市美術館、香川
Pavilion、東京
日産アートアワード・コレクション